



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

病害虫注意報 2017年10月作成

切断必生時の防险に努めまし 発目が遅く去合幼中になると薬剤が効きづらくなるので

発見が遅く老令幼虫になると楽剤が効ぎつらくなるので、					初期発生時の防除に努めましよう!			
	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数		
	738/75014		"-	12/13-9/0	——————————————————————————————————————	マルハナ	ミツバチ	
1	ミナミキイロアサ ミウマ ハモグ・リハ・エ類 オオタハ・コガ・ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	1,000倍	前日	40	18	18	
	すすかび病・灰色かび病 うどんこ病・黒枯病	ダコニール1000	1,000倍	前日	4回	0日	0日	
2	コナジラミ類・ハモグリハ、エ類 オオタハ、コカ・ハスモンヨトウ チャノホコリタニ	アニキ乳剤	1,000~ 2,000倍 ※ハモグリバエ!	前日 質、オオタバコガ、	3回 チャノホコリダ	1日	18	
	コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ アプラムシ類	ベストガード水溶剤	1,000~ 2,000倍	前日	30	10日以上	6日	
3	ハタニ類・チャノホコリタニ ミナミキイロアサ ミウマ・オオタハコカ ミカンキイロアサ ミウマ・ハスモンヨトウ ヨトウムシ・テントウムシタ マシ類	コテツフロアブル	2,000倍	前日	40	9⊟	10日	
	すすかび病 灰色かび病・うどんこ病	ベルクート水和剤	3,000倍	前日	3回	0日	0日	
4	オオタバコカ・ハスモンヨトウ ハモグリハ´エ類	プレバソンフロアブル5	1,000~ 2,000倍 ※オオタバコガ、	前日	2回	18	18	
	うどんこ病・すすかび病 灰色かび病・ハダ=類 アザミウマ類	ポリオキシンAL水溶剤	5,000倍	前日	3回	0日	3日	
5	ハダニ類・ハモグリバェ類 オオタバコガ・ハスモンヨトウ チャノホコリダニ・アサミウマ類	アファーム乳剤	2000倍	前日	2回	2⊟	2日	
	すすかび病・うどんこ病	トリフミン水和剤	3,000~ 5,000倍 ※すすかび病は	前日	5回	1日	0日	
	症状	原因	対策①		対策②			

こんな時こそ ファイトシリーズ の出番

成り疲れ 根痛み、同化養分の不足 ファイトメットを潅注施用 150g/反又は2000倍

ファイトオーツー +ファイトカル 2~5日後混合散布 各1000倍

メット灌水後、数日間空けて液肥の潅水をするとより効果4.5(過湿に注意)

高夜温、低温多湿、日照不足 ファイトオーツー+エレマックス赤0-28-26を混用散布

エレマックス赤0-28-26 500倍液散布

4

各1000倍

うどんこ病・灰色かび病で お困りの場合の予防剤

徒長ぎみ①

徒長ぎみ②



農林水産省登録:第23046号



窒素過多からくる徒長

- 攻作用(病障菌との「糖合」・「延抗性誘導」・「直接殺菌」)でうどんこ病
- 植物の病害抵抗性を誘導することが確認されています。
- ① 助放体系に組み込むことで化学概算の副性関管理に収立ちます。
- 被土物保証である本剤は、使用回数に制限がなく、耐性菌発生のリスクも減らせます。 ● 化学機能の代替・補充として主席初降から7~10日間降で助助体系に組み込むことにより。 動業的な動態体系の根據性を高めることが可能となります。
- 有用是虫や螺蛳に対し高い安全性を育し、使用しやすい概益でき
- 有效原路4年、常道様存可能と思い知明安定性を有します。
- 新JAS法の有機機量物の生産に使用できます。
- あた。Mの意において、「有着無機」とそれを明に発生された的

- ・成分:バチルス ズブチリス QST-713株の生芽胞
- ·適用作物:野菜類登録
- ・適用病害:うどんこ病 灰色かび病
- ·希釈倍率:500倍
- •使用回数:制限なし
- ・使用方法:散布(上澄液)

注:上澄み液の調剤方法 散布液濃度より10倍濃い薬液を調剤。 攪拌後3~5分程度静置後上澄み液を

採取し10倍に希釈後使用